

会計-款-項-目-事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
一般会計				
上下水道課				
4.衛生費				
1.保健衛生費				
4.環境衛生費				
合併処理浄化槽設置整備事業	1,546	1,546	11-1	
3.上水道費				
1.上水道費				
水道事業会計繰出金	33,704	7,629		事務費
5.農林水産業費				
1.農業費				
7.農業集落排水事業費				
農業集落排水事業繰出金	207,135	207,135		事務費
農業集落排水事業推進基金積立金	4,367	4,367		事務費
7.土木費				
4.都市計画費				
3.公共下水道事業費				
下水道事業推進基金積立金	9,703	9,700		事務費
公共下水道事業繰出金	293,835	293,835		事務費
下水道事業特別会計				
上下水道課				
1.下水道費				
1.下水道費				
1.下水道整備費				
公共下水道事業	524,197	459,981	11-2	
特定環境保全事業	487,547	417,350	11-3	
2.下水道維持管理費				
赤碓処理区	42,634	41,421	11-4	
東伯処理区	49,086	48,072	11-5	
2.公債費				
1.公債費				
1.元金				
事業債償還金元金	256,741	256,740	11-6	
2.利子				
事業債償還金利子	113,941	113,941	11-7	
農業集落排水事業特別会計				
上下水道課				
1.事業費				
1.処理施設費				
1.施設整備事業費				
農業集落排水施設維持管理	39,432	39,021	11-8	
農業集落排水整備事業	836	836	11-9	
2.公債費				
1.公債費				
1.元金				
農業集落排水施設維持管理	166,780	166,779	11-10	
2.利子				
農業集落排水施設維持管理	46,990	46,990	11-11	
水道事業会計				
上下水道課				
1.水道事業費用				
水道事業	268,670	258,906	11-12	
2.資本の支出				
水道事業	332,276	252,099	11-13	

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	118	事業名	合併処理浄化槽設置整備事業				会計区分	一般会計																									
担当課	上下水道課		担当係	下水道係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																										
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	環境衛生費																								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																									
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源																										
平成29年度	1,546	1,546	294	516	0	0	736																										
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0																										
経費の内訳	負担金、補助及び交付金1,546千円																																
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)																										
合併浄化槽設置	基	目標	2	2	2	3	3																										
		実績	1	2	2																												
		達成率	50%	100%	100%																												
事業対象	下水道事業計画区域外の居住者																																
事業目的	下水道事業計画区域外の町民の生活環境の向上、並びに公共水域の水質改善を図ります。																																
事業の主な実施状況	① 下水道事業計画区域外へ居住し新たに合併浄化槽を設置する2基に対して設置費用の一部を補助しました。 ● 合併浄化槽整備事業区域 (下水道事業計画区域外) 梅田、上中村、野井倉、杉下の一部、八橋の一部、松谷の一部、赤碕の一部他 ● 補助額の算定(7人槽の場合) 1基あたり 補助対象基準額1,104千円×0.7=772.8千円																																
成果と課題	【前年度課題の概要】 ① 合併浄化槽整備事業区域の整備率の向上が必要です。 ② 合併浄化槽の設置費用を補助していますが、汲み取りから合併浄化槽への切り替えは宅内の改築等を伴い、多額の個人負担が発生するため、下水道事業計画区域外の方に早期に合併浄化槽へ切り替えてもらうことは困難です。 【成果及び前年度課題に対する対応】 ① 合併浄化槽の設置費用を補助することで、新たに2軒が汲み取りから合併浄化槽に切り替わり、公共水域の水質改善につなげることができました。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助設置基数 (基)</td> <td>35</td> <td>37</td> <td>2 ↑</td> </tr> <tr> <td>民間設置基数 (基)</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>2 ↑</td> </tr> <tr> <td>使用総軒数 (軒)</td> <td>52</td> <td>56</td> <td>4 ↑</td> </tr> <tr> <td>整備区域軒数 (軒)</td> <td>167</td> <td>165</td> <td>-2 ↓</td> </tr> <tr> <td>合併浄化槽整備率 (%)</td> <td>31.1</td> <td>33.9</td> <td>2.8 ↑</td> </tr> </tbody> </table> 【次年度に向けての課題】 ① 事業のスピードアップには、補助対象基数の増が必要です。 ② 合併浄化槽の設置費用を補助していますが、汲み取りから合併浄化槽への切り替えは宅内の改築等を伴い、多額の個人負担が発生するため、下水道事業計画区域外の方に早期に合併浄化槽へ切り替えてもらうことは困難です。									項目	H28	H29	増減	補助設置基数 (基)	35	37	2 ↑	民間設置基数 (基)	17	19	2 ↑	使用総軒数 (軒)	52	56	4 ↑	整備区域軒数 (軒)	167	165	-2 ↓	合併浄化槽整備率 (%)	31.1	33.9	2.8 ↑
項目	H28	H29	増減																														
補助設置基数 (基)	35	37	2 ↑																														
民間設置基数 (基)	17	19	2 ↑																														
使用総軒数 (軒)	52	56	4 ↑																														
整備区域軒数 (軒)	167	165	-2 ↓																														
合併浄化槽整備率 (%)	31.1	33.9	2.8 ↑																														
所管課の評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10.7,3.0 10.7,3.0 5.3,1.0																							
	評価点	7	10	3	3	3	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5.3,1.0 5.3,1.0 5.3,1.0																							
	合計点	26	総合評価	B	下水道事業計画区域外の下水処理には合併浄化槽が必要であり、継続すべき事業と考えています。			A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止																									

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	600	事業名	公共下水道事業				会計区分	下水道事業特別会計																	
担当課	上下水道課		担当係	下水道係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																		
予算区分	款	1	下水道費	項	1	下水道費	目	1	下水道整備費																
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源																		
平成29年度	524,197	459,981	159,671	0	34,257	253,600	12,453	負担金:28,013千円																	
平成29年度(明許)	123,518	122,660	48,374	0	6,244	67,700	342	繰越金:6,244千円																	
経費の内訳	工事請負費390,114千円 委託料25,902千円 補償、補填及び賠償金15,075千円 その他28,890千円																								
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)																		
供用人口	人	目標	6,340	6,400	6,500	6,600	6,750																		
		実績	6,254	6,328	6,433																				
		達成率	99%	99%	99%																				
整備率 (供用人口/ 計画人口)	%	目標	92.0	93.0	94.0	96.0	98.0																		
		実績	90.6	91.7	93.2																				
		達成率	99%	99%	99%																				
事業対象	東伯処理区 全体計画人口6,900人																								
事業目的	町民の生活環境の向上、並びに公共水域の水質改善を図るため、下水道施設の整備を行います。																								
事業の 主な 実施状況	① 平成32年度の下水道整備完了を目標に下水道管きよの新設工事を実施しました。 ② 下水道工事に伴う舗装復旧工事を実施しました。 ③ 下水道工事に支障となる上水道管の移転に必要な補償工事を実施しました。 ④ 下水道工事に必要な設計を実施しました。 ⑤ 東伯浄化センターの受変電設備、中央監視装置等の電気設備の更新設計を実施しました。																								
	事業実施地域 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 管きよ新設</td> <td>八橋、劔、松井、田越</td> </tr> <tr> <td>② 舗装復旧</td> <td>八橋、劔、美好</td> </tr> <tr> <td>③ 水道移転</td> <td>八橋、劔、松井、田越</td> </tr> <tr> <td>④ 設計業務</td> <td>八橋</td> </tr> </tbody> </table>									項目	実施地域	① 管きよ新設	八橋、劔、松井、田越	② 舗装復旧	八橋、劔、美好	③ 水道移転	八橋、劔、松井、田越	④ 設計業務	八橋						
項目	実施地域																								
① 管きよ新設	八橋、劔、松井、田越																								
② 舗装復旧	八橋、劔、美好																								
③ 水道移転	八橋、劔、松井、田越																								
④ 設計業務	八橋																								
成果と 課題	【前年度課題の概要】 ① 下水道未普及地域の早期解消のため、事業のスピードアップが必要です。																								
	【成果及び前年度課題に対する対応】 ① 新規整備に伴い、管きよ延長及び供用面積が増加し、供用人口が105人増えました。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管きよ延長(km)</td> <td>54.0</td> <td>58.2</td> <td>4.2 ↑</td> </tr> <tr> <td>供用面積(ha)</td> <td>266.4</td> <td>280.0</td> <td>13.6 ↑</td> </tr> <tr> <td>供用人口(人)</td> <td>6,328</td> <td>6,433</td> <td>105 ↑</td> </tr> </tbody> </table> ② 整備率(供用人口/全体計画人口)が1.5ポイント増加し93.2%となりました。 ③ 事業のスピードアップのため、曲管等を利用しマンホール個数を減少させる等、クイックプロジェクトの取り組みを採用し工事費及び工期の縮減に努めました。									項目	H28	H29	増減	管きよ延長(km)	54.0	58.2	4.2 ↑	供用面積(ha)	266.4	280.0	13.6 ↑	供用人口(人)	6,328	6,433	105 ↑
	項目	H28	H29	増減																					
管きよ延長(km)	54.0	58.2	4.2 ↑																						
供用面積(ha)	266.4	280.0	13.6 ↑																						
供用人口(人)	6,328	6,433	105 ↑																						
【次年度に向けての課題】 ① 現在の下水道事業計画区域内の整備は概ね完了したため、未普及箇所を事業計画区域に設定し、下水道未普及地域の早期解消に向けた新規整備に引き続き取り組む必要があります。																									
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0															
	評価点	7	10	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0															
	合計点	27	総合 評価	B	下水道未普及地域を解消するため、継続すべき事業と考えています。																				

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	595	事業名	特定環境保全事業				会計区分	下水道事業特別会計																
担当課	上下水道課		担当係	下水道係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																	
予算区分	款	1	下水道費	項	1	下水道費	目	1	下水道整備費															
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源																	
平成29年度	487,547	417,350	171,848	0	35,278	202,200	8,024	負担金:22,480千円																
平成29年度(明許)	61,640	51,016	18,320	0	12,798	19,500	398	補償費:10,278千円 繰越金:2,520千円																
経費の内訳	工事請負費303,158千円 委託料85,740千円 補償、補填及び賠償金10,858千円 その他17,594千円																							
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)																	
供用人口	人	目標	5,240	5,300	5,400	5,500	5,600																	
		実績	5,104	5,254	5,431																			
		達成率	97%	99%	101%																			
整備率 (供用人口/ 計画人口)	%	目標	92.0	93.0	94.0	96.0	98.0																	
		実績	89.5	92.2	95.3																			
		達成率	97%	99%	101%																			
事業対象	赤碓処理区 全体計画人口5,700人																							
事業目的	町民の生活環境の向上、並びに公共水域の水質改善を図るため、下水道施設の整備を行います。																							
事業の 主な 実施状況	① 平成32年度の下水道整備完了を目標に下水道管きよの新設工事を実施しました。 ② 下水道工事に伴う舗装復旧工事を実施しました。 ③ 下水道工事に支障となる上水道管の移転に必要な補償工事を実施しました。 ④ 下水道工事に必要な設計業務を実施しました。 ⑤ 赤碓浄化センターの受変電設備、中央監視装置等の電気設備の更新工事を実施しました。																							
成果と 課題	事業実施地域 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実施地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 管きよ新設</td> <td>水口、大石、佐崎、太一垣、別所、出上</td> </tr> <tr> <td>② 舗装復旧</td> <td>光、太一垣、出上</td> </tr> <tr> <td>③ 水道移転</td> <td>水口、大石、太一垣、別所、出上</td> </tr> <tr> <td>④ 設計業務</td> <td>今在家</td> </tr> </tbody> </table>									項目	実施地域	① 管きよ新設	水口、大石、佐崎、太一垣、別所、出上	② 舗装復旧	光、太一垣、出上	③ 水道移転	水口、大石、太一垣、別所、出上	④ 設計業務	今在家					
	項目	実施地域																						
	① 管きよ新設	水口、大石、佐崎、太一垣、別所、出上																						
② 舗装復旧	光、太一垣、出上																							
③ 水道移転	水口、大石、太一垣、別所、出上																							
④ 設計業務	今在家																							
【前年度課題の概要】 ① 下水道未普及地域の早期解消のため、事業のスピードアップが必要です。																								
【成果及び前年度課題に対する対応】 ① 新規整備に伴い、管きよ延長及び供用面積が増加し、供用人口が177人増えました。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管きよ延長(km)</td> <td>55.6</td> <td>58.5</td> <td>2.9 ↑</td> </tr> <tr> <td>供用面積(ha)</td> <td>230.6</td> <td>233.7</td> <td>3.1 ↑</td> </tr> <tr> <td>供用人口(人)</td> <td>5,254</td> <td>5,431</td> <td>177 ↑</td> </tr> </tbody> </table> ② 整備率(供用人口/全体計画人口)が3.1ポイント増加し95.3%となりました。 ③ 事業のスピードアップのため、曲管等を利用しマンホール個数を減少させる等、クイックプロジェクトの取り組みを採用し工事費及び工期の縮減に努めました。									項目	H28	H29	増減	管きよ延長(km)	55.6	58.5	2.9 ↑	供用面積(ha)	230.6	233.7	3.1 ↑	供用人口(人)	5,254	5,431	177 ↑
項目	H28	H29	増減																					
管きよ延長(km)	55.6	58.5	2.9 ↑																					
供用面積(ha)	230.6	233.7	3.1 ↑																					
供用人口(人)	5,254	5,431	177 ↑																					
【次年度に向けての課題】 ① 現在の下水道事業計画区域内の整備は概ね完了したため、未普及箇所を事業計画区域に設定し、下水道未普及地域の早期解消に向けた新規整備に引き続き取り組む必要があります。																								
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0														
	評価点	7	10	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0														
	合計点	27	総合 評価	B	下水道未普及地域を解消するため、継続すべき事業と考えています。																			

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	494	事業名	赤碓処理区				会計区分	下水道事業特別会計								
担当課	上下水道課		担当係	下水道係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続									
予算区分	款	1	下水道費	項	1	下水道費	目	2	下水道維持管理費							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)								
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源									
平成29年度	42,634	41,421	0	0	41,421	0	0	使用料:41,421千円								
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0									
経費の内訳	委託料21,223千円 需用費13,665千円 その他6,533千円															
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)									
接続率	%	目標	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0									
		実績	71.7	74.3	72.2											
		達成率	100%	100%	95%											
接続人口	人	目標	3,600	3,850	4,100	4,300	4,500									
		実績	3,658	3,906	3,921											
		達成率	102%	101%	96%											
事業対象	赤碓処理区 供用人口5,431人(H30.3.31現在)															
事業目的	町民の生活環境の向上、並びに公共水域の水質改善を図るため、下水道施設の適正な維持管理を行います。															
事業の 主な 実施状況	① 適正な汚水処理のため公共下水道施設の維持管理に努めました。 ● 主な施設 赤碓浄化センター、八幡中継ポンプ場、マンホールポンプ27箇所 ● 主な維持管理業務 ・汚泥の運搬処分 ・施設の保守点検 ・施設の修繕 ・非常通報装置の保守管理 ・水質検査 ・電気工作物の保安管理															
成果と 課題	【前年度課題の概要】 ① 使用料収入の増加に向けた取組みが必要です。 ② 維持管理費を抑制させるための取組みが必要です。															
	【成果及び前年度課題に対する対応】 ① 使用料収入は5,063千円増の74,338千円となりました。 使用料収入確保のため、接続促進及び徴収強化に取り組みました。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td>項目</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>増減</td> </tr> <tr> <td>使用料収入(千円)</td> <td>69,275</td> <td>74,338</td> <td>5,063 ↑</td> </tr> </table> ② 維持管理費を抑制するため、施設修繕は可能な限り国の交付金事業を活用し町の負担低減に努めました。									項目	H28	H29	増減	使用料収入(千円)	69,275	74,338
項目	H28	H29	増減													
使用料収入(千円)	69,275	74,338	5,063 ↑													
所管課 の評価	【次年度に向けての課題】 ① 使用料収入の増加に向けて、引き続き接続促進及び徴収強化に取り組む必要があります。 ② 施設老朽化により施設更新費用の増大が見込まれるなか、更新費用を把握し将来にわたり下水道サービスを提供するため公営企業会計への移行が必要です。															
	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0						
評価点	7	7	3	3	3	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0							
合計点	23	総合 評価	B	生活環境の向上及び公共水域の水質改善のため			に、継続すべき事業と考えています。		A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止							

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	493	事業名	東伯処理区			会計区分	下水道事業特別会計									
担当課	上下水道課		担当係	下水道係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続									
予算区分	款	1	下水道費	項	1	下水道費	目	2	下水道維持管理費							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)								
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源									
平成29年度	49,086	48,072	0	0	48,072	0	0	使用料:48,072千円								
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0									
経費の内訳	委託料24,704千円 需用費16,786千円 その他6,582千円															
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)									
接続率	%	目標	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0									
		実績	73.1	73.8	73.0											
		達成率	102%	100%	96%											
接続人口	人	目標	4,500	4,750	5,000	5,150	5,400									
		実績	4,572	4,670	4,699											
		達成率	102%	98%	94%											
事業対象	東伯処理区 供用人口6,433人(H30.3.31現在)															
事業目的	町民の生活環境の向上、並びに公共水域の水質改善を図るため、下水道施設の適正な維持管理を行います。															
事業の 主な 実施状況	① 適正な汚水処理のため公共下水道施設の維持管理に努めました。 ● 主な施設 東伯浄化センター、マンホールポンプ33箇所 ● 主な維持管理業務 ・汚泥の運搬処分 ・施設の保守点検 ・施設の修繕 ・非常通報装置の保守管理 ・水質検査 ・電気工作物の保安管理		 <p>東伯浄化センター (逢東地内)</p>													
成果と 課題	<p>【前年度課題の概要】</p> ① 使用料収入の増加に向けた取組みが必要です。 ② 維持管理費を抑制させるための取組みが必要です。 <p>【成果及び前年度課題に対する対応】</p> ① 使用料収入は3,050千円増の95,694千円となりました。 使用料収入確保のため、接続促進及び徴収強化に取り組みました。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用料収入(千円)</td> <td>92,644</td> <td>95,694</td> <td>3,050 ↑</td> </tr> </tbody> </table>			項目	H28	H29	増減	使用料収入(千円)	92,644	95,694	3,050 ↑	② 維持管理費を抑制するため、施設修繕は可能な限り国の交付金事業を活用し町の負担低減に努めました。 <p>【次年度に向けての課題】</p> ① 使用料収入の増加に向けて、引き続き接続促進及び徴収強化に取り組む必要があります。 ② 施設老朽化により施設更新費用の増大が見込まれるなか、更新費用を把握し将来にわたり下水道サービスを提供するため公営企業会計への移行が必要です。				
項目	H28	H29	増減													
使用料収入(千円)	92,644	95,694	3,050 ↑													
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。 10,7,3,0 妥当性 行政必須か、委託の可能性は。 10,7,3,0 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3,1,0 有効性 目標数値は達成できたか。 5,3,1,0 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3,1,0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1,0								
	評価点	7	7	3	3	3	0									
	合計点	23	総合 評価	B	生活環境の向上及び公共水域の水質改善のため			A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止								
に、継続すべき事業と考えています。																

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	496	事業名	事業債償還金元金				会計区分	下水道事業特別会計																																												
担当課	上下水道課		担当係	下水道係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																													
予算区分	款	2	公債費	項	1	公債費	目	1	元金																																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																																												
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源																																													
平成29年度	256,741	256,740	0	0	0	0	256,740																																													
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0																																													
経費の内訳	償還金、利子及び割引料256,740千円																																																			
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)																																													
元金償還	千円	目標	-	-	-	-	-																																													
		実績	233,203	247,844	256,740																																															
		達成率																																																		
事業対象																																																				
事業目的	下水道事業の施設整備に係る事業債の元金の償還を行います。																																																			
事業の 主な 実施状況	① 下水道事業の施設整備に係る事業債の元金の償還を行いました。																																																			
	<p style="text-align: center;">元金償還額の推移(平成29年度末確定分)</p> <table border="1"> <caption>元金償還額の推移(平成29年度末確定分)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>元金償還額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>200,000</td></tr> <tr><td>H26</td><td>215,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>230,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>245,000</td></tr> <tr><td>H29</td><td>256,740</td></tr> <tr><td>H30</td><td>270,000</td></tr> <tr><td>H31</td><td>285,000</td></tr> <tr><td>H32</td><td>300,000</td></tr> <tr><td>H33</td><td>315,000</td></tr> <tr><td>H34</td><td>330,000</td></tr> <tr><td>H35</td><td>345,000</td></tr> <tr><td>H36</td><td>355,000</td></tr> <tr><td>H37</td><td>360,000</td></tr> <tr><td>H38</td><td>365,000</td></tr> <tr><td>H39</td><td>360,000</td></tr> <tr><td>H40</td><td>355,000</td></tr> <tr><td>H41</td><td>345,000</td></tr> <tr><td>H42</td><td>300,000</td></tr> <tr><td>H43</td><td>280,000</td></tr> <tr><td>H44</td><td>250,000</td></tr> <tr><td>H45</td><td>235,000</td></tr> </tbody> </table>									年度	元金償還額(千円)	H25	200,000	H26	215,000	H27	230,000	H28	245,000	H29	256,740	H30	270,000	H31	285,000	H32	300,000	H33	315,000	H34	330,000	H35	345,000	H36	355,000	H37	360,000	H38	365,000	H39	360,000	H40	355,000	H41	345,000	H42	300,000	H43	280,000	H44	250,000	H45
年度	元金償還額(千円)																																																			
H25	200,000																																																			
H26	215,000																																																			
H27	230,000																																																			
H28	245,000																																																			
H29	256,740																																																			
H30	270,000																																																			
H31	285,000																																																			
H32	300,000																																																			
H33	315,000																																																			
H34	330,000																																																			
H35	345,000																																																			
H36	355,000																																																			
H37	360,000																																																			
H38	365,000																																																			
H39	360,000																																																			
H40	355,000																																																			
H41	345,000																																																			
H42	300,000																																																			
H43	280,000																																																			
H44	250,000																																																			
H45	235,000																																																			
成果と 課題	【前年度課題の概要】 ① 平成40年度頃まで元金償還額の増加が見込まれます。																																																			
	【成果及び前年度課題に対する対応】																																																			
	【次年度に向けての課題】 ① 平成40年度頃まで元金償還額の増加が見込まれます。																																																			
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0																																										
	評価点	7	10	3	3	3	0	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0																																										
								公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0																																										
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0																																										
合計点	26	総合 評価	B	下水道事業の施設整備に係る事業債の元金の償還であり、必要不可欠な事業です。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止																																												

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	497	事業名	事業債償還金利子				会計区分	下水道事業特別会計																																												
担当課	上下水道課		担当係	下水道係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																													
予算区分	款	2	公債費	項	1	公債費	目	2	利子																																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																																												
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源																																													
平成29年度	113,941	113,941	0	0	80,540	0	33,401	使用料:80,540千円																																												
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0																																													
経費の内訳	償還金、利子及び割引料113,941千円																																																			
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)																																													
利子償還	千円	目標	-	-	-	-	-																																													
		実績	117,925	115,241	113,941																																															
		達成率																																																		
事業対象																																																				
事業目的	下水道事業の施設整備に係る事業債の利子の償還を行います。																																																			
事業の 主な 実施状況	① 下水道事業の施設整備に係る事業債の利子償還を行いました。																																																			
	<p align="center">利子償還額の推移(平成29年度末確定分)</p> <table border="1"> <caption>利子償還額の推移(平成29年度末確定分)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利子償還額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>~115,000</td></tr> <tr><td>H26</td><td>~115,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>~115,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>~115,000</td></tr> <tr><td>H29</td><td>113,941</td></tr> <tr><td>H30</td><td>~105,000</td></tr> <tr><td>H31</td><td>~100,000</td></tr> <tr><td>H32</td><td>~95,000</td></tr> <tr><td>H33</td><td>~90,000</td></tr> <tr><td>H34</td><td>~85,000</td></tr> <tr><td>H35</td><td>~80,000</td></tr> <tr><td>H36</td><td>~75,000</td></tr> <tr><td>H37</td><td>~70,000</td></tr> <tr><td>H38</td><td>~65,000</td></tr> <tr><td>H39</td><td>~60,000</td></tr> <tr><td>H40</td><td>~55,000</td></tr> <tr><td>H41</td><td>~50,000</td></tr> <tr><td>H42</td><td>~45,000</td></tr> <tr><td>H43</td><td>~40,000</td></tr> <tr><td>H44</td><td>~35,000</td></tr> <tr><td>H45</td><td>~30,000</td></tr> </tbody> </table>									年度	利子償還額(千円)	H25	~115,000	H26	~115,000	H27	~115,000	H28	~115,000	H29	113,941	H30	~105,000	H31	~100,000	H32	~95,000	H33	~90,000	H34	~85,000	H35	~80,000	H36	~75,000	H37	~70,000	H38	~65,000	H39	~60,000	H40	~55,000	H41	~50,000	H42	~45,000	H43	~40,000	H44	~35,000	H45
年度	利子償還額(千円)																																																			
H25	~115,000																																																			
H26	~115,000																																																			
H27	~115,000																																																			
H28	~115,000																																																			
H29	113,941																																																			
H30	~105,000																																																			
H31	~100,000																																																			
H32	~95,000																																																			
H33	~90,000																																																			
H34	~85,000																																																			
H35	~80,000																																																			
H36	~75,000																																																			
H37	~70,000																																																			
H38	~65,000																																																			
H39	~60,000																																																			
H40	~55,000																																																			
H41	~50,000																																																			
H42	~45,000																																																			
H43	~40,000																																																			
H44	~35,000																																																			
H45	~30,000																																																			
成果と 課題	【前年度課題の概要】 ① 利子償還額のピークは過ぎたものの、使用料収入では賅えない多額の利子償還が続きます。																																																			
	【成果及び前年度課題に対する対応】 【次年度に向けての課題】 ① 利子償還額のピークは過ぎたものの、使用料収入では賅えない多額の利子償還が続きます。																																																			
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0																																										
	評価点	7	10	3	3	3	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0																																										
	合計点	26	総合 評価	B	下水道事業の施設整備に係る事業債の元金の償還 であり、必要不可欠な事業です。			A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止																																												

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	481	事業名	農業集落排水施設維持管理				会計区分	農業集落排水事業特別会計									
担当課	上下水道課		担当係	下水道係		事業区分	□新規 ■継続										
予算区分	款	1	事業費	項	1	処理施設費	目	1	施設整備事業費								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)									
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源										
平成29年度	39,432	39,021	0	0	39,021	0	0	使用料:39,021千円									
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0										
経費の内訳	役員費14,151千円 需用費13,887千円 委託料9,880千円 その他1,103千円																
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)										
接続率	%	目標	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0										
		実績	86.1	87.0	86.7												
		達成率	100%	100%	99%	0%	0%										
接続人口	人	目標	3,200	3,200	3,195	3,190	3,185										
		実績	3,213	3,203	3,177												
		達成率	100%	100%	99%	0%	0%										
事業対象	農業集落排水処理区 供用人口3,663人(H30.3.31現在)																
事業目的	町民の生活環境の向上、並びに公共水域の水質改善を図るため、農業集落排水施設の適正な維持管理を行います。																
事業の主な実施状況	① 適正な汚水処理のため農業集落排水処理施設の維持管理に努めました。 ● 主な施設 倉坂処理場、伊勢崎処理場、川東処理場、古布庄東処理場、上郷処理場、古布庄北処理場、古布庄南処理場、山川木地処理場、以西処理場、マンホールポンプ43箇所 ● 主な維持管理業務 ・汚泥の運搬処分 ・施設の保守点検 ・施設の修繕 ・非常通報装置の保守管理 ・水質検査					 伊勢崎処理場 (掘下地内)											
成果と課題	【前年度課題の概要】 ① 使用料収入の増加に向けた取組みが必要です。 ② 維持管理費を抑制させるための取組みが必要です。 【成果及び前年度課題に対する対応】 ① 使用料収入は779千円増の46,700千円となりました。 使用料収入確保のため、接続促進及び徴収強化に取り組みました。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>増減</th> </tr> <tr> <td>使用料収入(千円)</td> <td>45,921</td> <td>46,700</td> <td>779 ↑</td> </tr> </table> ② 消費税の申告方式を本則課税から簡易課税に切り替え消費税額を軽減させることができました。 【次年度に向けての課題】 ① 使用料収入の増加に向けて、引き続き接続促進及び徴収強化に取り組む必要があります。 ただし人口減少に伴い、接続人口が減少するなか今後は使用料収入の減が見込まれます。 ② 施設老朽化により施設更新費用の増大が見込まれるなか、更新費用を把握し将来にわたり下水道サービスを提供するため公営企業会計への移行が必要です。									項目	H28	H29	増減	使用料収入(千円)	45,921	46,700	779 ↑
項目	H28	H29	増減														
使用料収入(千円)	45,921	46,700	779 ↑														
所管課の評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0							
	評価点	7	7	3	3	1	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0							
	合計点	21	総合評価	C	生活環境の向上及び公共水域の水質改善のために、継続すべき事業と考えています。			A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止									

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	608	事業名	農業集落排水整備事業				会計区分	農業集落排水事業特別会計			
担当課	上下水道課		担当係	下水道係		事業区分	□新規		■継続		
予算区分	款	1	事業費	項	1	処理施設費	目	1	施設整備事業費		
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)			
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源				
平成29年度	836	836	0	0	0	0	836				
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0				
経費の内訳	委託料778千円 繰出金58千円										
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)				
設定なし		目標									
		実績									
		達成率									
事業対象	農業集落排水処理区 供用人口3,663人(H30.3.31現在)										
事業目的	町民の生活環境の向上、並びに公共水域の水質改善を図るため、農業集落排水施設の整備を行います。										
事業の 主な 実施状況	<p>① 県道福永由良線道路改良工事に伴い西大杉橋に添架している農業集落排水管の移転が必要となります。移転工事に必要な詳細設計業務を実施しました。</p> <p>西大杉橋の農業集落排水管の移転計画</p> 										
	<p>【前年度課題の概要】 前年度の事業はありません。</p> <p>【成果及び前年度課題に対する対応】 ① 移転工事に必要な詳細設計が完了しました。</p> <p>【次年度に向けての課題】 ① 移転費用の一部は補償費として鳥取県から交付されますが、減耗分は琴浦町が負担する必要があります。 ② 移転工事の実施時期は鳥取県の補償費の予算に左右されます。</p>										
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 獨創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0 10,7,3,0	
	評価点	7	7	3	3	1	0	有効性 効率性 先駆性・獨創性	受益者の偏りはないか。 目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0	
	合計点	21	総合 評価	C	生活環境の向上及び公共水域の水質改善のために、継続すべき事業と考えています。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止		

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	490	事業名	農業集落排水施設維持管理				会計区分	農業集落排水事業特別会計																																												
担当課	上下水道課		担当係	下水道係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																													
予算区分	款	2	公債費	項	1	公債費	目	1	元金																																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																																												
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源																																													
平成29年度	166,780	166,779	0	0	0	0	166,779																																													
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0																																													
経費の内訳	償還金、利子及び割引料166,779千円																																																			
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)																																													
元金償還	千円	目標	-	-	-	-	-																																													
		実績	167,501	168,074	166,779																																															
		達成率																																																		
事業対象																																																				
事業目的	農業集落排水事業の施設整備に係る事業債の元金の償還を行います。																																																			
事業の 主な 実施状況	① 農業集落排水事業の施設整備に係る事業債の元金の償還を行いました。																																																			
	<p align="center">元金償還額の推移(平成29年度末確定分)</p> <table border="1"> <caption>元金償還額の推移(平成29年度末確定分)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>元金償還額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>155,000</td></tr> <tr><td>H26</td><td>160,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>165,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>168,000</td></tr> <tr><td>H29</td><td>166,779</td></tr> <tr><td>H30</td><td>165,000</td></tr> <tr><td>H31</td><td>168,000</td></tr> <tr><td>H32</td><td>170,000</td></tr> <tr><td>H33</td><td>172,000</td></tr> <tr><td>H34</td><td>170,000</td></tr> <tr><td>H35</td><td>165,000</td></tr> <tr><td>H36</td><td>160,000</td></tr> <tr><td>H37</td><td>150,000</td></tr> <tr><td>H38</td><td>135,000</td></tr> <tr><td>H39</td><td>115,000</td></tr> <tr><td>H40</td><td>85,000</td></tr> <tr><td>H41</td><td>80,000</td></tr> <tr><td>H42</td><td>50,000</td></tr> <tr><td>H43</td><td>40,000</td></tr> <tr><td>H44</td><td>25,000</td></tr> <tr><td>H45</td><td>20,000</td></tr> </tbody> </table>									年度	元金償還額(千円)	H25	155,000	H26	160,000	H27	165,000	H28	168,000	H29	166,779	H30	165,000	H31	168,000	H32	170,000	H33	172,000	H34	170,000	H35	165,000	H36	160,000	H37	150,000	H38	135,000	H39	115,000	H40	85,000	H41	80,000	H42	50,000	H43	40,000	H44	25,000	H45
年度	元金償還額(千円)																																																			
H25	155,000																																																			
H26	160,000																																																			
H27	165,000																																																			
H28	168,000																																																			
H29	166,779																																																			
H30	165,000																																																			
H31	168,000																																																			
H32	170,000																																																			
H33	172,000																																																			
H34	170,000																																																			
H35	165,000																																																			
H36	160,000																																																			
H37	150,000																																																			
H38	135,000																																																			
H39	115,000																																																			
H40	85,000																																																			
H41	80,000																																																			
H42	50,000																																																			
H43	40,000																																																			
H44	25,000																																																			
H45	20,000																																																			
成果と 課題	【前年度課題の概要】 ① 平成33年度まで元金償還額はゆるやかに増加します。																																																			
	【成果及び前年度課題に対する対応】 【次年度に向けての課題】 ① 平成33年度まで元金償還額はゆるやかに増加します。																																																			
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0																																										
	評価点	7	10	3	3	3	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0																																										
	合計点	26	総合 評価	B	施設整備に係る事業債の元金償還であり、必要不可欠な事業です。			A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止																																												

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	491	事業名	農業集落排水施設維持管理			会計区分	農業集落排水事業特別会計																																													
担当課	上下水道課		担当係	下水道係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																													
予算区分	款	2	公債費	項	1	公債費	目	2	利子																																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																																												
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源																																													
平成29年度	46,990	46,990	0	0	7,679	0	39,311	使用料:7,679千円																																												
平成29年度(明許)	0	0	0	0	0	0	0																																													
経費の内訳	償還金、利子及び割引料46,990千円																																																			
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)																																													
利子償還	千円	目標	-	-	-	-	-																																													
		実績	54,778	50,903	46,990																																															
		達成率																																																		
事業対象																																																				
事業目的	農業集落排水事業の施設整備に係る事業債の利子の償還を行います。																																																			
事業の 主な 実施状況	① 農業集落排水事業の施設整備に係る利子償還を行いました。																																																			
	<p style="text-align: center;">利子償還額の推移(平成29年度末確定分)</p> <table border="1"> <caption>利子償還額の推移(平成29年度末確定分)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利子償還額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>62,000</td></tr> <tr><td>H26</td><td>58,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>55,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>50,000</td></tr> <tr><td>H29</td><td>46,990</td></tr> <tr><td>H30</td><td>43,000</td></tr> <tr><td>H31</td><td>39,000</td></tr> <tr><td>H32</td><td>35,000</td></tr> <tr><td>H33</td><td>31,000</td></tr> <tr><td>H34</td><td>27,000</td></tr> <tr><td>H35</td><td>23,000</td></tr> <tr><td>H36</td><td>19,000</td></tr> <tr><td>H37</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>H38</td><td>12,000</td></tr> <tr><td>H39</td><td>9,000</td></tr> <tr><td>H40</td><td>7,000</td></tr> <tr><td>H41</td><td>5,000</td></tr> <tr><td>H42</td><td>4,000</td></tr> <tr><td>H43</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>H44</td><td>2,000</td></tr> <tr><td>H45</td><td>1,000</td></tr> </tbody> </table>									年度	利子償還額(千円)	H25	62,000	H26	58,000	H27	55,000	H28	50,000	H29	46,990	H30	43,000	H31	39,000	H32	35,000	H33	31,000	H34	27,000	H35	23,000	H36	19,000	H37	15,000	H38	12,000	H39	9,000	H40	7,000	H41	5,000	H42	4,000	H43	3,000	H44	2,000	H45
年度	利子償還額(千円)																																																			
H25	62,000																																																			
H26	58,000																																																			
H27	55,000																																																			
H28	50,000																																																			
H29	46,990																																																			
H30	43,000																																																			
H31	39,000																																																			
H32	35,000																																																			
H33	31,000																																																			
H34	27,000																																																			
H35	23,000																																																			
H36	19,000																																																			
H37	15,000																																																			
H38	12,000																																																			
H39	9,000																																																			
H40	7,000																																																			
H41	5,000																																																			
H42	4,000																																																			
H43	3,000																																																			
H44	2,000																																																			
H45	1,000																																																			
成果と 課題	【前年度課題の概要】 ① 利子償還額のピークは過ぎたものの、使用料収入では賅えない多額の利子償還が続きます。																																																			
	【成果及び前年度課題に対する対応】 【次年度に向けての課題】 ① 利子償還額のピークは過ぎたものの、使用料収入では賅えない多額の利子償還が続きます。																																																			
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10,7,3,0 10,7,3,0 5,3,1,0																																										
	評価点	7	10	3	3	3	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0																																										
	合計点	26	総合 評価	B	施設整備に係る事業債の利子償還であり、必要不可欠な事業です。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止																																											

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号		事業名	水道事業				会計区分	水道事業会計		
担当課	上下水道課		担当係	上水道係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	1	水道事業費用	項		目				
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	268,670	258,906	0	0	3,662	0	255,244	他会計負担金3,054千円 他会計補助金 608千円		
平成29年度(明許)										
経費の内訳	原価償却費 143,023千円、資産減耗費 9,729千円、その他(給料・薬品費・修繕費ほか)106,154千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
有収率の向上	%	目標	-	86.7	86.8	86.9	86.9			
		実績	86.6	80.7	80.4					
		達成率	-	93%	93%					
事業対象	上水道給水区域内町民									
事業目的	水道施設の維持管理、水質管理を行います。									
事業の主な実施状況	① 水源地等の施設及び水道管の適正な管理を行いました。 ・配水池水位低下など各種警報発生時に早急に対応することにより、大規模な断水を防止 ・水源地等の機器等故障時の早急な修繕による適正な稼働の確保 ② 漏水箇所の発見・修繕を行いました。 ・漏水箇所の修繕(21件) ③ 水質検査による水質管理を行いました。 ・水質検査計画に基づく計画的な検査の実施(水質基準値を超えるものなし。)									
成果と課題	【前年度課題の概要】 ① 災害時はもとより、日常的に維持管理の継続実施と管理方法について、共通認識が必要です。 ② 漏水調査で絞り込んだ区域の場所の特定及び計画的な調査が必要です。 【成果及び前年度課題に対する対応】 ① 水道施設の維持管理、水質管理に努め、安全で良質な水を安定供給することができました。 ② 日頃から町内を見回り、漏水時には速やかに対応を行いました。 【次年度に向けての課題】 ① 水需要の動向を注視すると同時に、老朽管の布設替及び施設の耐震化・更新等の計画を策定することが必要です。									
所管課の評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
								妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0
	評価点	10	7	5	5	3	3	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
合計点	33	総合評価	B	安全な水を安定的に供給するために、必要不可欠な事業です。				A:事業拡充 B:現状維持 C:内容の見直し又は委託の検討 D:縮小・終期設定 E:休止・廃止		

平成 29 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号		事業名	水道事業				会計区分	水道事業会計		
担当課	上下水道課		担当係	上水道係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	1	資本的支出		項		目			
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	起債	一般財源			
平成29年度	332,276	252,099	0	0	34,382	55,800	161,917	他会計出資金7,486千円 工事負担金26,896千円		
平成29年度(明許)	30,198	20,315	0	0	6,971	7,300	6,044			
経費の内訳	委託料 7,846千円、工事請負費 93,519千円、企業債償還金 133,845千円 その他 16,889千円									
活動項目	単位	年度	27(実績)	28(実績)	29(実績)	30(計画)	31(計画)			
老朽管の更新延長	m	目標	-	2,565	3,970	1,785				
		実績	2,505	1,948	3,857					
		達成率	-	76%	97%					
事業対象	上水道給水区域内町民									
事業目的	安全で良質な水を長期的に安定供給します。									
事業の 主な 実施状況	① 下水道工事等に伴う上水道配水管布設替工事 ・工事件数 22件 ・老朽管等の更新延長 L=3,857 m ② 水源地・配水池整備 ・水源地滅菌機等取替工事 1件 ・水源地取水ポンプ取替工事 1件 ・配水電磁流量計取替工事 1件 ③ 消火栓新設 ・消火栓新設工事 2件									
成果と 課題	【前年度課題の概要】 ① 老朽管の更新及び水源地・配水池等の水道施設の更新を年次的に行うことが必要です。 ② 施設の耐震化等の老朽施設の更新計画、アセットマネジメント(資産管理)を含めた経営戦略を平成31年度までに策定する必要があります。 【成果及び前年度課題に対する対応】 ① 安全で良質な水を長期的に安定供給するために、下水道工事等に伴う上水道配水管の布設替工事を行いました。 【次年度に向けての課題】 ① 安定的に水道事業を行っていくため、水道事業基本計画・管路耐震化更新計画、アセットマネジメント(資産管理)、水道ビジョン(経営戦略)を平成31年度までに策定することが必要です。									
所管課の 評価	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10,7,3,0
		妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性・独創性	行政必須か、委託の可能性は。	10,7,3,0		
	評価点	10	7	3	3	3	3	公平性	受益者の偏りはないか。	5,3,1,0
								有効性	目標数値は達成できたか。	5,3,1,0
合計点	29	総合評価	B	安全な水を安定的に供給するために、必要不可欠な事業です。				他	コスト・人員効率はどうか。	5,3,1,0
								先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5,3,1,0